



公益
社団法人 京都府放射線技師会

京放技ニュース

12 / 2013
(通算 643 号)

発行：(公社)京都府放射線技師会 TEL&FAX 075-802-0082 E-mail:kyohogi@mbox.kyoto-inet.or.jp
ホームページアドレス http://www/kyohogi.jp/
〒604-8472 京都市中京区西ノ京北壺井町 88-1 二条プラザ
振込郵便口座 0100-3-11019 ゆうちょ銀行 店名 一〇九 店番 109 当座 口座番号 0011019

平成 26・27 年度年度役員選挙に関する告示

会員各位

平成 25 年 12 月 1 日

公益社団法人 京都府放射線技師会 選挙管理委員会

委員長 澤田 保雄

1. 平成 26・27 年度役員選挙に関する告示により届け出のあったのは下記のとおりです。

(1) 有権者 20 名以上の推薦する候補者 なし

(2) 理事会の推薦する候補者

①会長候補者 轟 英彦 昭和 33 年 12 月 3 日生

*勤務先 京都府立医科大学附属病院

*会務歴

I) 平成 8 年度 ~ 平成 11 年度まで 地区理事、常務理事

II) 平成 12 年度 ~ 平成 17 年度まで 副会長

III) 平成 18 年度 ~ 平成 25 年度まで 会長

②副会長候補者 北村 真 昭和 35 年 11 月 20 日生

*勤務先 明治国際医療大学附属病院

*会務歴

I) 平成 10 年度 ~ 平成 15 年度まで 常務理事

II) 平成 16 年度 ~ 平成 25 年度まで 副会長

2. 候補者がそれぞれ単独であるため、役員選挙規定第 2 章、第 10 条により信任投票とします。

上記の候補者について、下記の要領に従って、期日までに全会員漏れなく投票して下さい。

記

(1) 指定投票用紙(本誌同封のハガキ)で必ず投票して下さい。

(2) 投票欄に信任:○印、不信任:×印のいずれかを記入して下さい。

(3) 投票は無記名です。

(4) 所定以外の用紙による投票は無効とします。

(5) 投票締切日は平成 25 年 12 月 31 日(火)必着とします。

以上

平成 26・27 年度会長副会長候補者のことば

会長（代表理事）候補 轟 英彦

この度、理事会にて、会長候補として推薦をいただきました。
会長に就任して 4 期 8 年を務めさせていただきましたが、「本当に私でいいのか」という思いと「やるからには一生懸命」という信念で日々を過ごしてきました。その間、会員の皆様のご理解とご協力を賜り、様々な事業に取り組むことが出来ましたことに感謝申し上げます。

さて、公益社団法人京都府放射線技師会として、昨年から新たな気持ちで、府民から如何に信頼される会として確立していくことが私の使命だと思っております。その為に、府民公開講座を開催し、また、会員のために生涯教育や認定資格の講義・試験など公益社団法人日本診療放射線技師会と共同で事業を推し進めてきました。また、平成 27 年の 11 月には全国放射線技師学術大会を京都の地で開催いたします。今まで、全国から京都での開催要望がありましたが、実現しませんでした。しかし、将来に禍根を残さないため、また、レントゲン発見 120 年記念大会として、私の最後の取り組みを行いたいと思います。今まで以上に会員が一致団結をする良い機会だと思いますし、将来の技師会がより大きく育つかを見極めることができると思います。このように日進月歩で未来に向けて診療放射線技師の確固たる地位を築き上げるため、役員はもちろんのこと、皆様のご協力を得ながら役割を果たしていきたいと思います。あと 2 年間、これが最後の仕事です。精一杯頑張りますのでよろしくお願いいたします。

副会長（副代表理事）候補 北村 真

この度、公益社団法人京都府放射線技師会理事会にて、次期副会長候補として推薦を受けました。副会長として、早くも 10 年間に勤めさせて頂き、その間を振り返ると、社会情勢や医療を取り巻く環境の変遷には目をみはるものがありました。

会員の皆様におかれましては、公益社団法人日本診療放射線技師会、公益社団法人京都府放射線技師会の事業にご理解ご協力を賜り感謝申し上げます。

今期中の最大の事業の一つであった、公益社団法人格が皆様のご支援により無事に取得することができました。これを機に新たな気持ちで本会の使命である、府民や市民の皆様にとって益となる情報の発信や公開講座など、これまで以上に貢献をしなければならないと気持ちを引き締めています。

また会員はじめ全ての診療放射線技師の皆様に対しては、静脈注射（針刺しを除く）講習会等、法令改正を行い職域の拡大を図ったり、専門技師の認定制度も充実させ、日常業務において診療報酬が付加されるようにしなければならないと考えています。

更に、永年の念願であった全国学術大会の誘致に成功し、第 31 回日本診療放射線技師学術大会が平成 27 年 11 月に開催されることとなり、下準備に係り始めています。

全ての放射線技師の職域の拡充と底上げ、そして専門技師、認定技師の活躍の場も増やし、その活動を恒久的に安定したものにしなければなりません。診療放射線技師の未来像を国民、市民、会員の皆様と共に確固たるものに築き上げたいと所望いたします。

従いまして、公益社団法人日本診療放射線技師会や関連団体ともよく意見を交換し、誤った判断をしないように皆様と共に歩んで行きたいと思っています。

社会は着実に動いています。そう言った中において、会員の皆様には新しい情報を提供し、しいては府民の皆様のご健康と健康が損なわれないよう、公益社団法人京都府放射線技師会の役割が果たせるように、推薦をして頂いた現会長をはじめ各理事の期待に応えるべく、皆様とともにがんばりたいと思います。

西村信男名誉会員を偲んで

公益社団法人 京都府放射線技師会会長 轟 英彦

本会の元会長で名誉会員の西村信男先生が、平成 25 年 11 月 14 日に永眠されました。昭和 23 年からお亡くなりになるまでの 65 年間、京都府放射線技師会の会員として、また、役員として多大なる貢献をされてきました。ここに心からご冥福をお祈り申し上げます。



西村名誉会員は昭和 23 年～29 年に理事、昭和 30 年～34 年に副会長、昭和 35 年～37 年は会長、昭和 39 年～44 年まで監事と 22 年間役員として活躍されました。表彰関係は、昭和 48 年に京都府知事、昭和 57 年に厚生労働大臣、昭和 58 年に勲 5 等瑞宝章叙勲、平成 3 年に日本放射線技師会会長など数々の表彰を受賞されました。

昭和 45 年からは京都府放射線技師会の名誉会員になられ、また、日本放射線技術学会でも名誉会員であられました。技師教育の確立、技術学会の設立、京都エックス線技師会の設立や日本放射線技師会設立、また、国家資格の改正など、この長い技師の歴史の中の激動の時代を生きてこられ、我々の現在の診療放射線技師の基盤を作られてきました。そういう意味で、お亡くなりになるまでの功績は余りあるものがあります。

また、職業人としては、昭和 15 年京都府立医科大学附属病院に就職され、昭和 42 年に初代技師長になられました。医師の力（特に教授）が絶対の中、この 30 年間は苦勞の連続であったと推測されます。その後、京都第一赤十字病院に 10 年間、京阪京都診療所に 15 年間ほど在籍され、現役を引退されたと聞いております。実に 60 年間あまりの現役生活で京都府民に限らず、国民に対しての健康維持促進診療のために存分に力を発揮され、後輩の教育にも貢献されました。私が就職して OB としてお目にかかった時は「優しく、後輩を思いやる人だな。おじいちゃんみたいな人だなあ」という印象が残っています。先輩方は西村名誉会員のことは「実に厳しく、OB としても口のうるさい人であった」と申します。だからこそ、現在の技師会、技術学会や各職場があるのであろうと思います。

残された我々役員・会員一同は西村名誉会員を見習って、今後、京都府放射線技師会を益々発展させ、活力のあるものにしていきたいと思っております。

本当に長い間お疲れ様でした。そしてありがとうございました。心からご冥福をお祈り申し上げます。

合掌

名誉会員西村信男氏のご逝去を心よりお悔やみします

京都府放射線技師会 名誉会員 芦田 暢夫

11月14日(木)早朝、奥様よりご逝去の電話に接し、深い悲しみでいっぱいです。今夏、京都第二岡本総合病院にお伺いしました折には、顔色も良くベッドを半分起こし元気に本会の昔話しや、思い出をお聞きすることが出来ました。

先生は京都府立医科大学付属病院を定年退職後、京都第一赤十字病院に再就職され、そこを退職後、京阪京都診療所に83才まで勤められました。その間、本会等に貢献された業績により勲五等瑞宝章、厚生大臣表彰、京都府知事表彰を受章・受賞されています。思えば先生は私の恩師で何かとご指導と時には親も及ばぬ親身な叱正をいただきました。

本会にとりましても、昭和35年～昭和38年まで第3代会長を勤められたご功績は現在の放射線技師の資質向上のためご尽力されてきました。昭和28年度では、先生ご提案で研修会の制度を提案され第1、3土曜日に開催が決定、速実施されました。この制度は今も引き継がれ放射線技師の資質向上に役だっています。

前後しますが昭和26年度に診療エックス線技師法が制定され昭和27年度の国家試験に向け京都府立医科大学の講堂にて受験準備講習会を行ったこのときも京都から不合格者を出さないよう奮闘されているお姿が目につかびます。

心からお悔やみを申し上げます。

「第40回 くらしと健康展」報告

広報・渉外委員会理事 新井 喬

10月20日(日)の10:00～16:00に医師会館において、「第40回くらしと健康展」が開催されました。今回は、日時と場所を医師会館に変更してから、3回目の開催となりました。当日はあいにくの雨模様の中でも、会館の外に行列ができるほど盛況であり、当会は滞りなく無事に事業を遂行することができました。

総来場者数は421名となり前回より152名減少となりましたが、当コーナーには総計63名(3名増加)の来場者がありました。今回もパンフレットを見てからの質問や問い合わせが多くあり、放射線相談の内容はかなり深くなり時間を費やしていました。また、福島原発事故による放射能汚染による不安からの被ばくや原発の心配の相談も未だにありました。今回、日本診療放射線技師会が作製した診療放射線技師の職能を案内したパンフレットを配布しました。

当コーナーへの今回の来場者数は、総来場者に対する割合としては高くなっています。私たちが、医療における放射線利用の安全性・有益性・専門性を一般の方々に対して啓蒙し、理解してもらい且つ診療放射線技師という名称と職種を少しでもアピールできた機会であったと思います。

終わりに、健康展に協力して頂いた会員の皆さまには、お礼申し上げます。



平成 25 年度臨時総会と新年会の開催について

公益社団法人 京都府放射線技師会会長 轟 英彦

平素は会務にご理解、ご支援を賜り感謝申し上げます。

さて、平成 25 年 11 月の理事会にて「平成 25 年度臨時総会（平成 26 年度事業計画、予算）」及び「平成 26 年新年会」について審議しましたのでお知らせいたします。

(1) 「平成 25 年度臨時総会（平成 26 年度事業計画・予算）」について

本会は公益社団法人への移行の際に、新制度のもとでは臨時総会（平成 26 年度事業計画・予算）は開催しなくても良いとの旨を京都府からも指導を受けておりましたが、例年の慣例に従い、平成 24 年度は臨時総会を開催しました。そうしたところ会員様から「新制度においては、臨時総会の開催は必要ない」との意見がなされました。それを受け理事会等で継続的に審議を重ね、今年度の臨時総会は開催しない運びとなりました。

ただし、平成 26 年度事業計画・予算については理事会承認を得て、京放技ニュースにて会員様に通知いたします。

(2) 「平成 26 年新年会」について

本会では例年、研修会や府民公開講座と合わせて新年会を開催してまいりました。当初は、「法人設立 30 周年及び公益社団法人取得記念式典」「府民公開講座」「新年会」を平成 26 年 1 月に開催予定でしたが、諸事情により「法人設立 30 周年及び公益社団法人取得記念式典」と「府民公開講座」は平成 25 年 10 月に開催いたしました。そして平成 26 年 2 月には近畿地域放射線技師会学術大会が京都府で開催されます。

これらの事情により「新年会」単独開催は、企画、予算、人員等を鑑みても困難となり開催を断念する事となりました。

以上 2 件に関して、どうぞご理解をいただきますようお願いすると共に、今後もかわらぬご支援ご指導を賜りますようお願い申し上げます。

平成 25 年度両丹地区秋季研修会報告

両丹地区理事 山添 三知生

両丹地区春季研修会を平成 25 年 11 月 9 日(土)福知山市民病院にて 14 時より開催しました。今回は第 46 回北京都 MRI 研究会を兼ねての開催としました。参加者は 23 名(非会員 5 名)。

1. 「血液循環及び血行動態と CT 値」舞鶴共済病院 北井 孝明氏

一般的な造影 CT には、造影プロトコルにはエビデンスが確立しているが、CTA においてははっきりとしたエビデンスが確立されておらず、その撮影には技師の裁量が大きく関わっているということで、今回は CTA の撮影に関しての理論や方法について多岐にわたり話された。

冠動脈 CTA に関して、合理的で無駄なく検査ができるようにとの考えから、リアルプレップを使用し、通常大動脈に ROI を設定するところを右心室(以下:RV)と左心房(以下:LA)の二点に ROI を設定し、RV の CT 値のピークに達したところをトリガーとすることで簡便に検査を実施できることを紹介され、得られた画像を分析しても、右心系の造影剤は綺麗になくなっており大動脈の CT 値も従来法にくらべ高く、CT 値のばらつきも少なかった。また下肢 CTA についても ROI を RV と下行大動脈に設定し、RV の CT 値が下降した状態をトリガーとして撮影することで、良好な画像を得られるということでした。

最後に「技師のスキルは病気予後を左右する」という言葉には、身につまされる思いをした。

2. 「MRI のアーチファクトについて(理解と対策)」大阪赤十字病院 高津 安男氏

画像診断においてアーチファクトとは偽の像のことである。MRI についてアーチファクトが起こる原因は、パーシャルボリュームや外部由来から起こる RF 不均一などさまざまな原因から起こる。今回は ①折り返し、②動き、③フロー、④磁化率によるアーチファクトに絞り込み説明された。それぞれのアーチファクトには何らかの発生メカニズムがある。例えば、②動きによるアーチファクトには、ランダムな動きをする臓器と、呼吸のように周期的な動きをするものがあり、前者には位相エンコード方向の変更やサチレーションパルスを掛けることによりアーチファクトを減らせる。後者には同期(呼吸同期、心電図同期)を掛けることにより、また呼吸補正法、加算回数を増やすことにより軽減出来る。この様にアーチファクトの種類、発生メカニズムを理解することにより、より良い解決方法が導かされるとのことでした。

3. 「MRI の SNR におけるトレードオフと 3D」大阪医科大学附属病院 山村 憲一郎氏

SNR の式を丁寧に分割し、果物や野菜の断面を使い分かりやすくポイントを押さえて MRI の SNR におけるトレードオフとなる因子の説明をされた。MRI の撮像は原理を知っているか否かで大きな差が生まれるとし要点として、解像度においては FOV サイズ、Matrix、Slice 厚による違いについて、また撮像時間は加算回数、バンド幅、位相方向の Matrix による違いについて、さらに 3D と SNR についてはブラーリングや撮像時間が長くなる欠点を踏まえて、slab 当たりのスライス数を増やすこと、Parallel Imaging の有効活用を解説された。講演にあたり会場から「3D 撮像で Slice 厚方向のオーバーサンプリングをどの程度で設定するのが最適か」と質問を受け「30~50%がトレードオフとなるのでは無いか」と回答された。最後にトレードオフの最適ポイントを探しながら「目的以外の何かを探す能力を養う」ことも必要と投げかけられた。

第 6 回理事会報告

平成 25 年 11 月 9 日

議長に松元理事、理事を選任し午後 4 時より議事に入った。

I. 経過報告及び計画に関する件

1) 経過報告及び計画 (轟会長)

(経過報告)

- ・ 10 月 20 日 くらしと健康展 (京都府医師会館)
- ・ 10 月 21 日 中間監査 (京放技事務所)
- ・ 10 月 26 日 法人設立 30 周年及び公益社団法人取得記念式典 (ルビノ京都堀川)
- ・ 11 月 2・3 日 静脈注射(針刺しは除く)講習会 (大阪がん循環器病予防センター)
- ・ 11 月 6 日 公益法人移行後の法人運営、定期提出書類の作成等に関する説明会 (京都府職員福利厚生センター)
- ・ 11 月 9 日 平成 25 年度京放技第 6 回理事会 (京放技会議室) (計画)
- ・ 11 月 17 日 静脈注射(針刺しは除く)講習会 (京都第二赤十字病院)
- ・ 11 月 24 日 静脈注射(針刺しは除く)講習会 (済生会滋賀県病院)
- ・ 11 月 30 日 全国教育委員会議 (轟出席) (日放技事務所)
- ・ 12 月 1 日 大放技公益社団法人取得・設立 65 周年記念式典 (ホテル大阪ペイタワ)
- ・ 12 月 7 日 平成 25 年度京放技第 7 回理事会 (京放技会議室)
- ・ 12 月 8 日 静脈注射(針刺しは除く)講習会 (和歌山県立医科大学生涯学習センター)
- ・ 近畿地域放射線技師囲碁大会京都府予選 (京放技会議室)
- ・ 12 月 14 日 日本診療放射線技師会第 4 回理事会 (東京)
- ・ 12 月 15 日 静脈注射(針刺しは除く)講習会 (奈良県立医科大学附属病院)
- ・ 1 月 10 日 平成 25 年度京放技第 8 回理事会 (京放技事務所)
- ・ 1 月 11 日 岐阜県放射線技師会学術大会 (岐阜)
- ・ 1 月 18~19 日 全国学術大会反省会および引継ぎ (大分市)
- ・ 1 月 19 日 近畿地域放射線技師囲碁大会 (大阪府医師協同組合会館)
- ・ 2 月 14 日 全国学術大会下見および打ち合わせ(京都国際会議場)
- ・ 2 月 15 日 第 2 回近畿会長副会長会議 (平安会館)
- ・ 2 月 16 日 近畿地域放射線技師会学術大会 (京都府立医科大学) (備考)
- ・ 臨時総会(次年度計画案・予算案可決)は定款により、開催しなくてよいことを京都府に確認した。来年度予算は理事会承認後、各会員に通達する。今年度の臨時総会は開催しないことを承認。

2) 委員会報告及び計画

【庶務】 皿谷理事

- ・ 10 月 31 日現在会員数 496 名 (先月+4)
内訳: 名誉会員 5 名、正会員 459 名、賛助会員 27 名 (社)
新入会 5 名、賛助会退会 1 社
平成 25 年度新入会累計 25 名
- ・ 委員会報告
- ・ 対外文書 107 件、発刊文書 8 件 (10 月 1 日~10 月 31 日)
- ・ 転入会員 1 名の承認
- 【財務】 武部理事
- ・ 会費納入状況
9 月末日現在平成 25 年度会費納入状況 331 名 (70.3%) 平成 24 年同期 (69.4%)
平成 25 年度会費未納者 136 名 (29.4%)
平成 24 年度会費未納者 6 名
- ・ 平成 25 年 10 月会計収支報告書
- ・ 10 月 21 日 中間監査 (京放技事務所)
- ・ 11 月 4 日 財務委員会開催 (京放技事務所)
- ・ 2 年分会費未納の会員に、自宅宛てに会員資格停止予告文書を送付
- 【学術】 原口理事 (庶務理事代読)
- ・ 11 月 17 日 静脈注射 (針刺しは除く) 講習会開催予定 (京都第二赤十字病院)
- ・ 11 月 21 日 近畿地域学術大会プログラム委員会開催予定 (京都府立医科大学)
- ・ 12 月 18 日 近畿地域学術大会プログラム委員会開催予定 (京放技事務所)
- ・ 1 月 12 日 基礎講習会「X 線 CT」開催予定 (和歌山県)

- ・ 2 月 16 日 近畿地域放射線技師会学術大会開催予定 (京都府立医大看護学会)
- ・ 近畿地域放射線技師会学術大会への役員と会員の協力を要請
- 【編集】 中島理事
- ・ 10 月 16 日 きづ川病院へ MR 装置更新の取材 (きづ川病院)
- ・ 10 月 20 日 くらしと健康展出務 (京都府医師会館)
- ・ 10 月 21 日 11 月号ニュース編集作業 (田辺中央病院)
- ・ 10 月 26 日 法人設立 30 周年及び公益社団法人取得記念式典・祝賀会出席 (ルビノ京都堀川)
- ・ 10 月 28 日 11 月号ニュース校正作業 (田辺中央病院)
- ・ 11 月 18 日 12 月号ニュース編集作業予定 (田辺中央病院)
- ・ 11 月 25 日 12 月号ニュース校正作業予定 (田辺中央病院)
- ・ 12 月 近畿地域放射線技師会学術大会ポスターの作成
- ・ 役員 of 京都府放射線技師会雑誌編集協力の要請
- 【広報・渉外】 新井理事
- ・ 10 月 19 日 「第 40 回くらしと健康展」 搬入・設営 (京都府医師会館)
- ・ 10 月 20 日 「第 40 回くらしと健康展」 出務・搬出 (京都府医師会館)
- 総来場者数 421(昨年・152)名、放射線部門 63(昨年+3)名、相談コーナー来場者の増加
- ・ 11 月 2 日 「第 40 回くらしと健康展」 報告書を事務局へ提出
- ・ 11 月 13 日 「第 40 回くらしと健康展」 第 3 回実行委員会開催予定 (京都府医師会館)
- ・ 年内に第 1 回広報・渉外委員会開催予定
- ・ 京放技ニュース 12 月号に報告記事掲載予定
- 【組織調査】 久保田理事
- ・ 学遊会の準備 (場所探し、レクリエーション保険の調査)
- ・ 3 月 学遊会開催予定
- 【厚生】 中川理事
- ・ 10 月 19 日 法人設立 30 周年及び公益社団法人取得記念式典・祝賀会打合せ (ルビノ京都堀川)
- ・ 10 月 24 日 法人設立 30 周年及び公益社団法人取得記念式典・祝賀会打合せ (京放技事務所)
- ・ 10 月 26 日 法人設立 30 周年及び公益社団法人取得記念式典・祝賀会開催 (ルビノ京都堀川)
- 祝賀会参加者 63 名 (招待者含む)
- ・ 12 月 8 日 近畿地域放射線技師会学術大会京都府予選開催予定(京放技会議室)
- ・ 1 月 19 日 近畿地域放射線技師会学術大会開催予定 (大阪府医師協同組合)
- ・ 10 月に記念式典、2 月に近畿学術大会と通年のないイベントが続くので、来年の新年会は開催しないことを承認
- 【情報】 中田理事
- ・ 10 月 28・30・31 日 ホームページに記念式典資料掲載作業
- ・ 11 月 1 日 京放技ニュース掲載作業
- ・ 11 月 5 日 ホームページに祝賀会掲載作業
- 【管理士】 山根理事
- ・ 10 月 20 日 暮らしと健康展放射線相談アドバイザー参加 (2 名) (京都府医師会館)
- ・ 12 月 管理士委員会開催予定
- 【受賞者選考委員会】 河本副会長
- ・ 30 年・50 年勤続表彰者対象者を選出中。予定として 30 年勤続表彰対象者が 12 名、50 年勤続表彰者はなし。

II. 地区経過報告及び計画に関する件

- 【北地区】 古谷理事
- ・ 10 月 26 日 法人設立 30 周年及び公益社団法人取得記念式典・祝賀会出席 (ルビノ京都堀川)
- ・ 11 月 21 日 第 2 回北地区委員会開催予定 西陣病院
- 【中地区】 楡理事
- ・ 10 月 14~18 日 地区移動者に関する連絡を本人と西地区理事に伝える
- ・ 10 月 26 日 法人設立 30 周年及び公益社団法人取得記念式典・祝賀会出席 (ルビノ京都堀川)
- 【東地区】 平川理事
- ・ 来年 2 月の近畿地域放射線技師会学術大会の発表演題を、第一日赤、

京大病院、音羽病院に要請中

【西地区】丸山理事

・10月17日 西地区委員会開催 (向日回生病院会議室)

【南地区】渡里理事 (庶務理事代読)

・10月25日 地区委員後任の連絡 (医療センター大西氏) 地区委員の要請を承諾いただきました。

・11月～12月に南地区委員会開催予定

【両丹地区】山添理事 (城下理事代読)

・10月28日 平成25年度両丹地区秋季研修会の案内

・10月7日 法人30年設立記念式典の出席案内

・11月9日 平成25年度両丹地区秋季研修会を第46回北京MRI研究会と共催で開催

【西南部地区】松元理事

・10月15日 学術大会演題登録の要請を行う

III. その他

1) 近畿地域放射線技師会学術大会 (轟会長)

近畿各府県技師会教育委員会を通じて演題登録を要請している。

2) 平成27年度日本診療放射線技師学術大会

京都府と日放技より府民公開講座講師を含めた講演名、講師リストを提出するように要請されているので、次回理事会で案を提案する予定。

3) 平成26・27年度会長副会長選挙

理事会推薦として、会長候補者として轟英彦現会長、副会長候補者として北村真現副会長を擁立することを承認。

次回理事会は平成25年12月7日(土)午後3時30分より京放技会議室にて開催予定

以上、各議案について採択し承認された。 (文責久保田)

会長・副会長選挙投票はがきの投函をお願いします

選挙管理委員会 澤田 保雄

今月号ニュースに同封しています、会長・副会長選挙用紙に信任は○、不信任は×のいずれかを記載していただき、今月中ごろまでの投函(12月31日必着)をお願いいたします。

求人のお知らせ

京都市内の病院でパートの求人があります。

月～土曜日の午前中、場合によっては午後になる場合もあるそうです。

詳しくは京放技ホームページか、事務所までお電話ください。

▶ 理事会で決定、報告された重要事項

- 例年の年度末に開催されている臨時総会を、今年度は開催しない。京都府に確認済み。
- 今年度は記念式典と近畿地域放射線技師会学術大会が開催されるため、新年会は開催しない。
- 平成26・27年度会長副会長選挙の理事会推薦として、会長候補者は轟英彦現会長、副会長候補者は北村真現副会長を擁立。

▶ 12月以降の京放技活動

12月1日(日)	平成26・27年度役員(会長・副会長)選挙の投票開始	
12月8日(日)	近畿地域放射線技師会学術大会京都府予選会	京放技会議室
1月19日(日)	近畿地域放射線技師会学術大会	大阪府医師協同組合会館
2月16日(日)	近畿地域放射線技師会学術大会	京都府立医科大学

会 員 異 動

【転入会】

上野 千尋 滋賀県放射線技師会 ⇒ 京都桂病院(西3)

【勤務先変更】

田中 潔 京都市立病院(中5) ⇒ 退職(西1)

三木 利晴 京都工場保健会(中4) ⇒ 退職(西1)

【訃報】

西村信男 名誉会員 第3代(昭和35～38年度)会長 11月14日御逝去

謹んでご冥福をお祈り申し上げます。合掌。